

# 歴史

川内の歴史は古く、村内のいたるところから縄文土器の破片や石斧などが発見されていることから、遠く石器時代に先住民が生活していたことが窺われます。

鎌倉時代の「かわうち」は一寒村にすぎず、源頼義が奥州平泉の藤原氏を討ったのち、浜街道が岩城氏と相馬氏に分けられたとき、「かわうち」は岩城氏の所領となりました。延享四年（一七四七年）以後、この地方は幕府直轄地となり、会津領から棚倉領へと領主は種々変遷。明治六年になると「川内」は磐前県第二大区第四小区に属し、俗に山檜葉と呼ばれるようになりました。

明治二十二年四月、町村制の実施により上川内村と下川内村は合併し、現在の「川内村」が誕生しています。

歴史  
概要  
位置  
気候



# かわうち KAWAUCHI TRIP 紀行

